

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年8月12日

東

上場会社名 チエル株式会社 上場取引所
 コード番号 3933 URL
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川居 睦
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 若松 洋雄 (TEL) 03-6712-9721
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	658	142.9	△47	—	△29	—	△19	—
2020年3月期第1四半期	271	27.5	△147	—	△118	—	△81	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △19百万円(—%) 2020年3月期第1四半期 △81百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△4.97	—
2020年3月期第1四半期	△21.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,907	1,596	54.9
2020年3月期	3,031	1,632	53.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 1,596百万円 2020年3月期 1,631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600	13.0	300	24.0	300	28.0	200	29.6	51.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 0社(社名) 、除外 0社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期1Q	3,901,200株	2020年3月期	3,901,200株
2021年3月期1Q	45,463株	2020年3月期	45,441株
2021年3月期1Q	3,855,748株	2020年3月期1Q	3,836,676株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、極めて厳しい状況が続いております。政府の緊急事態宣言発令に伴う経済活動の「自粛」は、企業収益を急速に減少させ、宣言の解除後も、国内外各地の感染状況とそれが消費者マインドに与える影響によっては、景気をさらに下振れさせるリスクをはらんでいます。

学校教育を取り巻く環境としては、政府の「GIGAスクール構想」により、児童生徒向けの1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークの一体的な整備が進められています。新型コロナウイルス感染拡大の影響でその整備は加速している一方、学校現場は一斉休校による授業遅れのフォローや、教育課程全般における感染対策の実施など例年ない対応に追われており、特に受験・進路指導は先の見通せない状態にあります。

このような市場動向のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は658,961千円（前年同期比387,725千円増）、営業損失は47,744千円（前年同期は営業損失147,755千円）、経常損失は29,646千円（前年同期は経常損失118,521千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は19,144千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失81,993千円）となりました。

なお当社の業績の特性として、第2四半期及び第4四半期において、売上高及び営業利益が偏重する傾向があります。

セグメントごとの経営成績は、次の通りであります。

(学習部門)

学習部門においては、高校・大学向けのCALLシステム(※)「CaLaboEX」が、リプレースを着実に受注したことで、売上は前年比で大きく増加しました。また、株式会社VERSION2が提供するeラーニングシステム「Glexa」も前期に引き続き受注を伸ばすなどした結果、売上高は229,251千円（前年同期比87.3%増）、セグメント利益は27,481千円（前年同期はセグメント損失36,183千円）となりました。

(進路部門)

進路部門においては、売上高は262,348千円、セグメント損失は1,774千円となりました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、3月以降に予定されていた進学相談会の多くが開催の延期または中止となり、大きな影響を受けました。

(情報基盤部門)

情報基盤部門においては、統合ID管理システム「ExtraConsole」など大学や専門学校の環境構築・設定支援が受注を伸ばしました。製品別では、無線LAN最適化ソリューション「Tbridge」、リカバリソフト「WinKeeper」等が前年同期比で増加し、売上高は167,362千円（前年同期比12.5%増）、セグメント利益は14,311千円（前年同期比130.4%増）となりました。

(※)CALL(Computer Assisted Language Learning)システム

コンピュータを活用して語学学習を支援するシステムのこと。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産の額は、2,907,311千円（前連結会計年度末は3,031,414千円）となり、124,103千円減少しました。これは主に、現金及び預金が88,342千円増加、商品が32,211千円増加した一方で、売掛金が258,991千円減少したことによるものです。

負債の額は、1,310,483千円（前連結会計年度末は1,399,103千円）となり、88,619千円減少しました。これは主に、未払法人税等37,098千円の減少、買掛金35,276千円の減少によるものです。

純資産の額は、1,596,827千円（前連結会計年度末は1,632,311千円）となり、35,483千円減少しました。これは主に利益剰余金が34,615千円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年5月22日付「2020年3月期決算短信」において公表いたしました通期の業績予想から修正は行っておりません。

なお、業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,182,057	1,270,399
売掛金	697,872	438,881
商品	49,426	81,638
仕掛品	7,926	2,026
貯蔵品	3,264	4,892
その他	169,872	148,907
貸倒引当金	△12,468	△12,468
流動資産合計	2,097,950	1,934,275
固定資産		
有形固定資産	42,980	45,314
無形固定資産		
ソフトウェア	246,903	261,079
のれん	128,453	123,918
その他	57,018	41,094
無形固定資産合計	432,375	426,092
投資その他の資産	458,108	501,629
固定資産合計	933,464	973,035
資産合計	3,031,414	2,907,311

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	136,694	101,418
短期借入金	11,004	7,404
未払法人税等	47,602	10,503
前受金	567,917	620,214
賞与引当金	40,068	35,175
役員賞与引当金	9,190	—
その他	184,976	147,535
流動負債合計	997,453	922,250
固定負債		
長期借入金	7,852	5,401
退職給付に係る負債	284,066	271,167
役員退職慰労引当金	42,817	44,750
その他	66,914	66,914
固定負債合計	401,649	388,232
負債合計	1,399,103	1,310,483
純資産の部		
株主資本		
資本金	332,098	332,098
資本剰余金	121,412	121,412
利益剰余金	1,245,974	1,211,358
自己株式	△67,905	△67,964
株主資本合計	1,631,578	1,596,903
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	418	△390
その他の包括利益累計額合計	418	△390
新株予約権	313	313
純資産合計	1,632,311	1,596,827
負債純資産合計	3,031,414	2,907,311

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	271,236	658,961
売上原価	184,288	292,901
売上総利益	86,948	366,060
販売費及び一般管理費	234,703	413,804
営業損失(△)	△147,755	△47,744
営業外収益		
受取利息	119	19
受取配当金	90	60
持分法による投資利益	30,153	18,552
その他	342	503
営業外収益合計	30,706	19,135
営業外費用		
支払利息	1,170	1,038
その他	302	—
営業外費用合計	1,472	1,038
経常損失(△)	△118,521	△29,646
税金等調整前四半期純損失(△)	△118,521	△29,646
法人税等	△36,527	△10,502
四半期純損失(△)	△81,993	△19,144
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△81,993	△19,144

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純損失(△)	△81,993	△19,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△390
その他の包括利益合計	—	△390
四半期包括利益	△81,993	△19,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△81,993	△19,534
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力 発生日	配当の 原資
2020年 6月8日 取締役会	普通株式	15,471	4	2020年 3月31日	2020年 6月29日	繰越利益 剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	学習部門	進路部門	情報基盤部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	122,410	—	148,826	271,236	—	271,236
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	122,410	—	148,826	271,236	—	271,236
セグメント利益	△36,183	—	6,211	△29,971	△117,783	△147,755

(注) セグメント利益の調整額△117,783千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△29,971
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△117,783
四半期連結損益計算書の営業利益	△147,755

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	学習部門	進路部門	情報基盤部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	229,251	262,348	167,362	658,961	—	658,961
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	229,251	262,348	167,362	658,961	—	658,961
セグメント利益	27,481	△1,774	14,311	40,018	△87,762	△47,744

(注) セグメント利益の調整額△87,762千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	40,018
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△87,762
四半期連結損益計算書の営業利益	△47,744

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。